

# わたしのバプテスマの日



メーガン・S, 10才  
(メキシコ, ミチョアカン)

みんなにちは! わたしの名前はメーガンです。メキシコに住んでいます。わたしの人生でとても特別なとき、バプテスマを受けた日について話したいと思います。



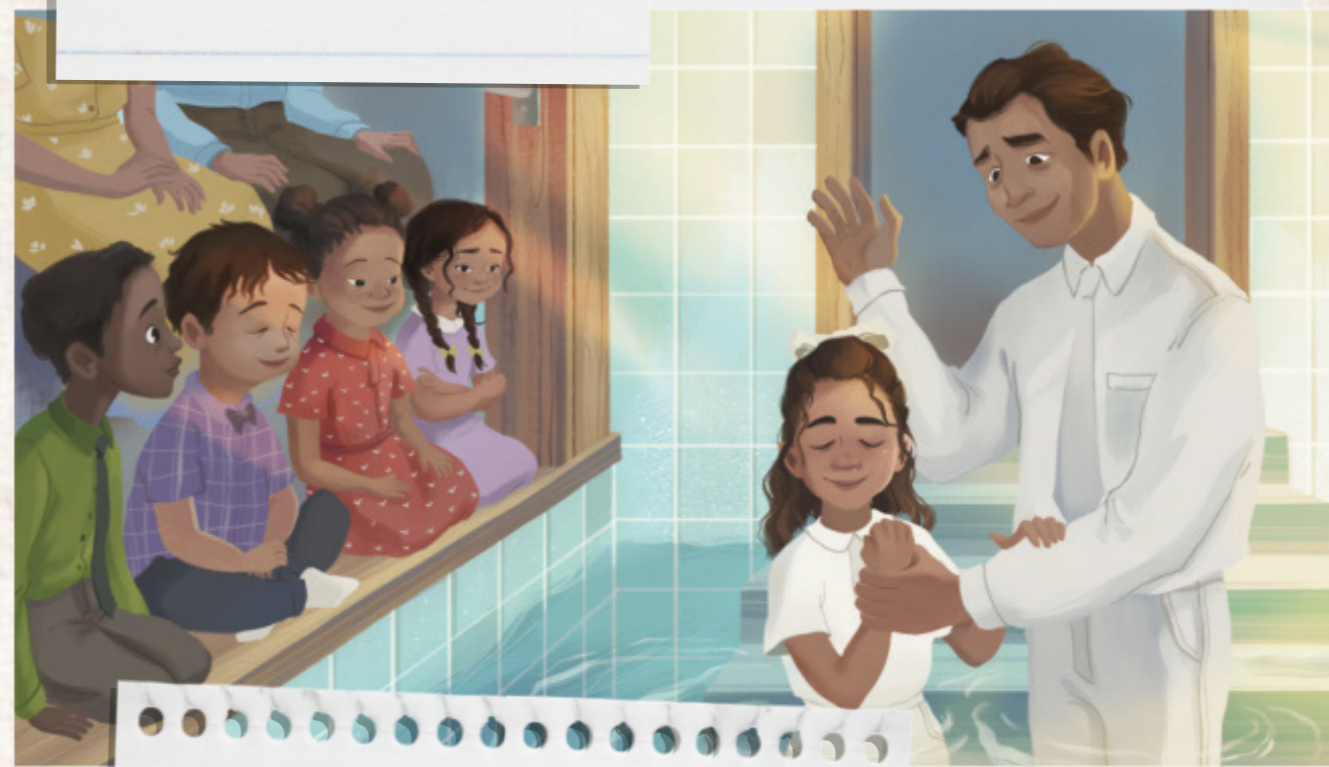
わたしは8才の誕生日にバプテスマを受けました。バプテスマを受けることで誕生日をお祝いしたので、とても大切な日でした。

バプテスマを受けるのはすばらしい経験でした。お母さんが、バプテスマにそなえるためにいろいろな活動ができるノートを作ってくれました。バプテスマの大切さと、天のお父様と交わす聖約について学ぶ助けになりました。



わたしを愛してくれている、たくさんの人がバプテスマに来てくれました。みんなが来てくれたことをとてもうれしく思いました。わたしは白いドレスを着ました。水は温かったです。

お父さんがバプテスマをほどこしてくれた後、わたしは体をふいて着替えました。そして、せいいいの賜物を受けました。わたしは神権者たちから、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にかくにんされました。大きな平安と、愛と、よろこびを感じました。



この日のことはずっと覚えていると思います。初めて神様と聖約を交わしたので、とても特別でした。わたしはイエス様にしたい、主のいましめにしたがうと約束しました。

バプテスマの日がどんなものか不安になったり、心配したりする必要はありません。天のお父様は、あなたの選択をよるこんでくださるでしょう! ●

